

トップメッセージ

コミュニケーションサービスを提供して50年。 人と人、企業と人とを繋ぐ架け橋となるコミュニケーション・ コンサルティングカンパニーとして、次の時代も新しい価値を提供 し社会に貢献すべく、新規事業創出やM&A戦略による事業領域の 拡大を進めています。

株主の皆様におかれましては、日頃より当事業へのご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。記念すべき50年という節目を迎えることができましたのも、これまで様々な形で弊社を支えてくださった皆様のおかげであり、改めて心より厚く御礼申し上げます。今期より株主通信を「ビジネスレポート」と改め、事業のご報告とともに今後に向けた取り組みをご説明させていただきます。

▶ 新型コロナウイルス感染症の影響と、業績について

まずは新型コロナウイルスによる影響を受けられた方々に謹んでお見舞い申し上げます。また、日々最前線で戦って下さっている医療関係者の皆さま、社会インフラを支えて下さっている皆さまに心より敬意と感謝の意を表します。当社としても、新しい働き方を取り入れ社員及び関係者の皆さまの安全を最優先しながら、事業の継続に取り組んでおります。

感染症の流行を受け世界経済が低迷する中、国内外のクライアントのPR・マーケティングを支援する当社も、業務の停止、イベントや記者会見の中止・延期など大きな影響を受けております。一方で、新しい生活様式に対応する「リモート記者会見」や「リモートメディアトレーニング」などの新サービスをいち早く展開し、また、デジタル領域に特化した新会社「プラップノード」のPR業務をオートメーション化する新サービスの提供を開始するなど新たな事業開発を進めてまいりました。その結果、当期の連結業績は、売上高47.5億円、営業利益2.4億円、経常利益2.6億円、親会社株主に帰属する当期純利益1.7億円となりました。

▶ より幅広いサービスを展開する

「コミュニケーション・コンサルティングカンパニー」へ

当社は創業以来、「世の中のあらゆる関係性を良好にする」をミッションとして、コミュニケーションサービスを行ってまいりました。創業から半世紀、人々の考え方や生活様式、企業の在り方はより多様に、そして当社に求められる役割も複雑になってきています。こうした新しいニ-

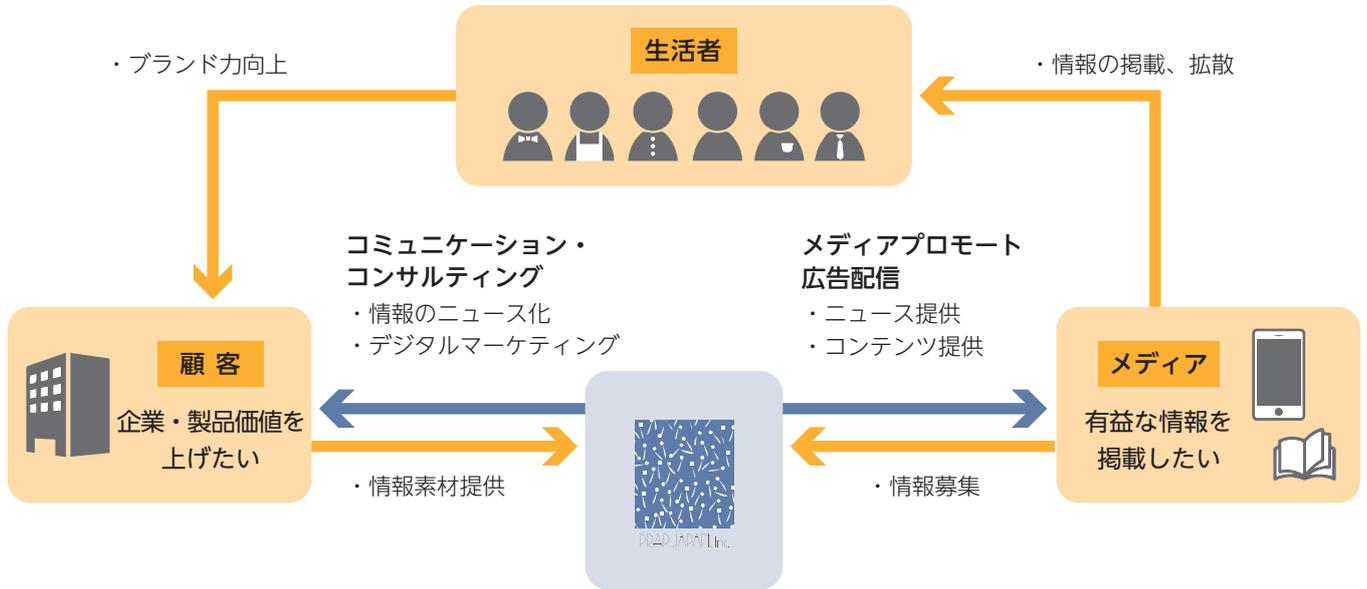
ズに答えるべく、既存の枠組みや常識にとらわれることなく、コミュニケーションによってあらゆる課題解決のサポートをしていくことで、次の50年に向けてさらなる発展を目指していく所存です。具体的には、PRのデジタルトランスフォーメーション(DX)を支援する「プラップノード」の設立、ポイントツシंगाポール社の子会社化による東南アジア地域のビジネス拡大、プレジジョンマーケティング社の子会社化によるデジタルマーケティング領域への進出などを実現しました。今後も、お客様や社会の期待を超える成果を生み出し、これからの時代にも必要とされ続けるために、これまでの「あたりまえ」を超えた事業領域拡大に、積極的な投資を進めてまいります。

代表取締役社長 鈴木勇夫



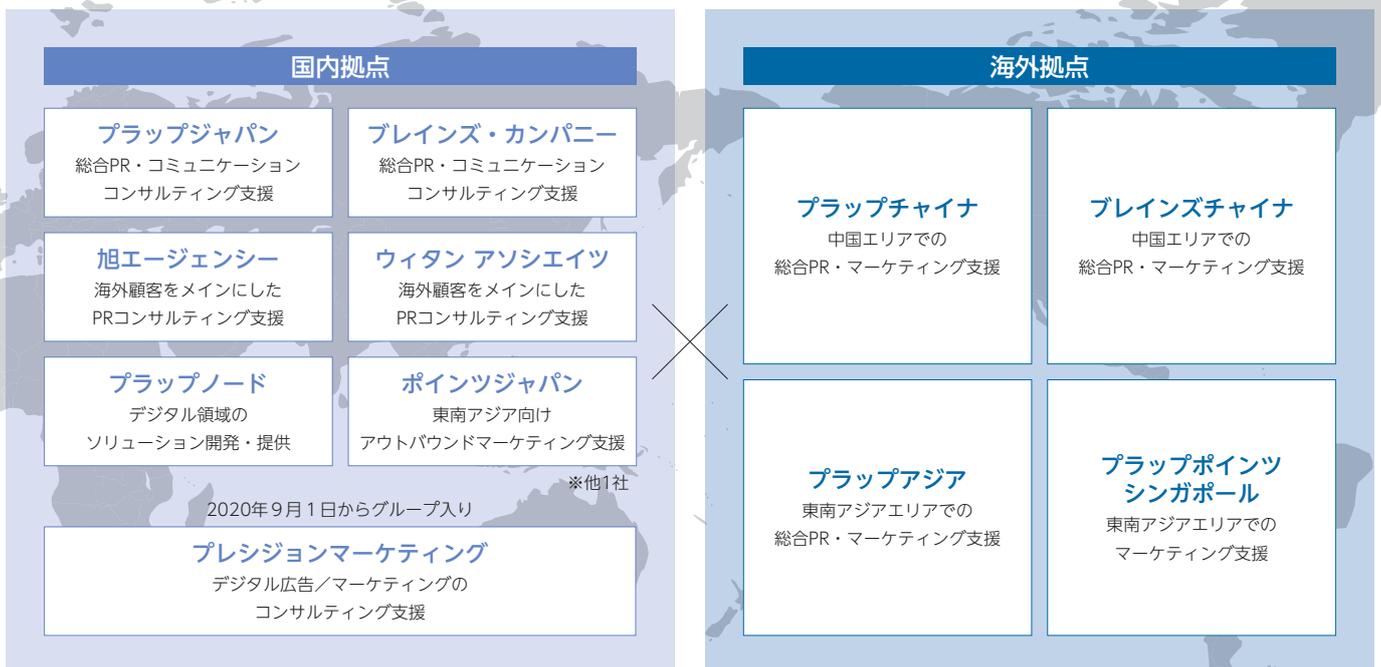
事業内容

国内外の企業・団体を顧客とし、認知拡大、ファン獲得、ブランディングなど顧客が求める課題をコミュニケーションで解決しています。多数の実績とノウハウを持つコミュニケーション・コンサルティング事業をベースとし、一方で、低予算で効果的なPRを行えるクラウドPRサービスの開発・提供など新規デジタル事業も開拓。既存の枠にとらわれず、より幅広いコミュニケーションサービスの提供を目指し、積極的なM&Aも実施しています。



グループ体制

プラップジャパングループは、株式会社プラップジャパンを中核としたコミュニケーションコンサルティンググループです。得意分野の異なる子会社各社とのシナジーを活かし、あらゆるコミュニケーション上の課題を解決します。



TOPICS

1 積極的な資本提携



よりスピーディーに、また質の高いサービスで新規市場を開拓するため、積極的な資本提携を進めています。第50期には東南アジアでのプロモーションを行うポイントシンガポール社や、デジタルマーケティング社を行うプレジジョンマーケティング社を子会社化しグループに迎えることで、新たなシナジーを生んでいます。

2 新規事業開拓



より幅広いサービスを提供するため、アフターコロナのPR活動に必要な「リモート記者会見」「リモートメディアトレーニング」等の新サービスを開始。また、デジタル領域のソリューション強化のために新会社「プラップノード」を設立しました。

3 社内制度の充実



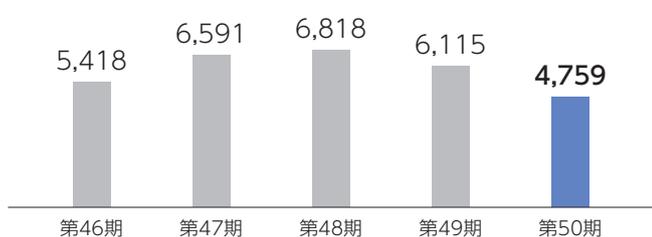
人財強化の一環として、知識を社内でも共有するPRAP大学や、感染症の影響下での新しいPR活動についての情報を共有するシステムを構築。また、社員のスキルアップのためのジョブローテーション制度を開始しました。テレワークなど柔軟な働き方も導入し、社員のウェルネス向上・新たな人材の確保に取り組んでいます。

その他の動き

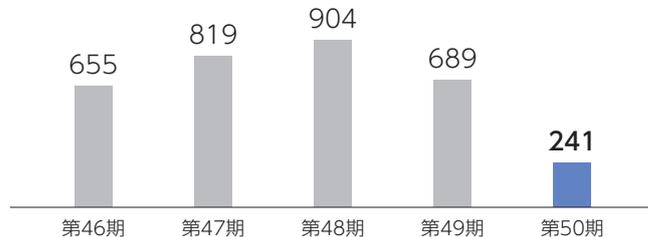
- ▶ アジアパシフィック22カ国を中心に世界90カ国のオンラインメディアへプレスリリースの配信を手がけるMedia Outreach社と業務提携
- ▶ コロナ禍において、従業員の安全確保を優先しながら在宅勤務や時差通勤など柔軟な勤務形態を実施し、安定したサービス提供と事業を継続
- ▶ 難病啓発プロジェクト「#酔っ払いではありません」に協賛、職場におけるLGBTに関する取り組みを評価する「PRIDE指標」では、最高評価をPR会社で唯一5年連続受賞

業績ハイライト

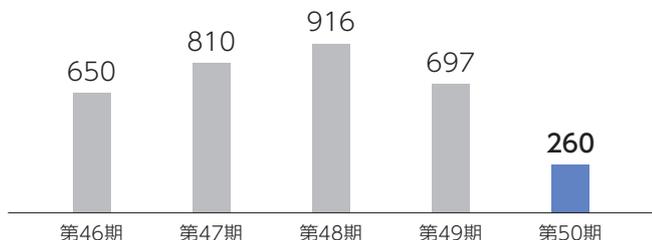
売上高 (百万円)



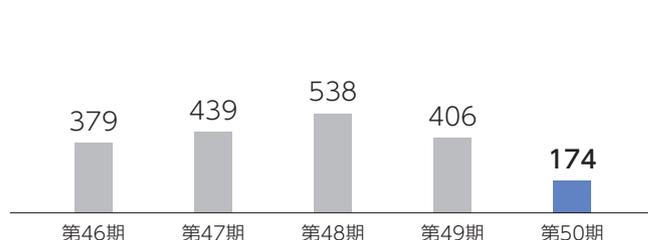
営業利益 (百万円)



経常利益 (百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)



会社概要 (2020年8月31日現在)

会社名	株式会社プラップ ジャパン PRAP Japan, Inc.
所在地	東京都港区赤坂一丁目12番32号 アーク森ビル 33階
代表者	鈴木 勇夫
設立年月日	1970年9月9日
資本金	4億7,078万円
従業員数	273名 (連結)
事業内容	企業・団体・行政等の戦略的広報コンサルティングおよび広報代行全般を手がけ、PRイベント、PR誌制作等のクリエイティブサービスや対中国および東南アジアPR、デジタル関連PR施策まで多彩なサービスメニューを有する総合PR会社。
連結子会社	株式会社ブレインズ・カンパニー 株式会社旭エージェンシー ウィタンアソシエイツ株式会社 プラップノード株式会社 株式会社ポインツジャパン 北京普楽普公共関係顧問有限公司 北京博瑞九如公共関係顧問有限公司 PRAP ASIA PTE. LTD. PRAP POINTS Singapore PTE.LTD ※他1社

株式情報 (2020年8月31日現在)

発行可能株式総数	18,716,000株
発行済株式総数	4,679,010株
株主数	1,017名
大株主 (上位10名)	

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
Cavendish Square Holding B.V.	935	23.42
矢島婦美子	885	22.15
野村しのぶ	394	9.86
光通信株式会社	393	9.84
矢島さやか	367	9.20
株式会社日本カストディ銀行	209	5.24
MSIP CLIENT SECURITIES	103	2.58
株式会社ブロードピーク	72	1.81
小山純子	59	1.50
プラップジャパン従業員持株会	40	1.01

(注) 1. 当社は、自己株式682,828株を保有しておりますが、上記の大株主からは除いております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度	9月1日から翌年8月31日まで
定時株主総会	毎年11月
基準日	期末配当金 8月31日
株主名簿管理人	
特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
------	--

公告の方法	電子公告により、当社ホームページ (http://www.prap.co.jp/) に掲載いたします。 ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。
-------	---

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

MORE INFORMATION

当社公式サイト



<https://www.prap.co.jp/>

当社の公式ページです。新サービスなどのご紹介のほか、IR情報も掲載しております。

IDPR公式サイト



<https://institute.digitalpr.jp/>

デジタルPR研究所 (IDPR: The Institute of Digital PR) ページです。2017年設立、デジタルメディアの「現在」を知ることで「未来」のコミュニケーションのあり方を探ることをテーマに活動しています。

THE CONNECTED公式サイト



<https://theconnected.jp/>

2020年、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い大きく変化した「コミュニケーション」をテーマに、様々な調査やアイデアを提案しています。